

特別会計

特定の収入があり、目的ごとに使い道をはっきりさせるための会計です。



会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険費	91億1,931万円	88億9,363万円	2億2,568万円
公共用地等造成費	644万円	1億3,088万円	△1億2,444万円
公設卸売市場費	4,025万円	3,962万円	63万円
高等学校費	5億7,574万円	5億7,499万円	75万円
企業用地造成費	439万円	2,233万円	△1,794万円
農業集落排水事業費	2億1,323万円	2億1,277万円	46万円
介護保険費	84億458万円	80億6,102万円	3億4,356万円
後期高齢者医療費	13億1,304万円	13億1,264万円	40万円
合計	196億7,698万円	192億4,788万円	4億2,910万円

企業会計

民間企業と同じように、料金などの収益で運営する会計です。

各企業会計	収	入	支	出	差	引
病院事業	収益的	121億4,679万円	124億690万円	△2億6,011万円		
	資本的	2億5,402万円	7億5,040万円	△4億9,638万円		
水道事業	収益的	17億9,228万円	15億9,955万円	1億9,273万円		
	資本的	4億7,790万円	13億7,652万円	△8億9,862万円		
下水道事業	収益的	25億7,657万円	23億1,032万円	2億6,625万円		
	資本的	10億7,433万円	17億9,935万円	△7億2,502万円		

収益的 病院診療報酬、水道料金、下水道使用料などの収入と人件費や維持管理費など事業の運営に必要な支出
 資本的 企業債など財源となる収入と、将来の営業活動に備えて行う施設の整備などの支出

【病院事業】

- 市立総合病院
1日平均 入院 340人 外来 912人
- 市立栗沢病院
1日平均 入院 58人 外来 51人

【水道事業】

給水戸数 43,307戸
 給水人口 79,758人
 総配水量 9,348,114m³
 1日平均配水量 25,541m³

【下水道事業】

処理区域面積 2,364ha
 普及率 87.7%
 水洗化率 99.1%
 処理水量 10,986,080m³

財産

市有財産の状況(令和元年度末)

建物	539,450m ²
土地	28,653,877m ²
山林	17,061,897m ²
機械器具(車両)	229台
基金	
土地	480,889m ²
現金	159億5,258万円
有価証券	4,572万円
出資による権利	4億3,516万円

借金

市債の残高(令和元年度末)

各会計	現在高
一般会計	613億2,877万円
特別会計	2億5,861万円
公共用地等造成費	1,626万円
公設卸売市場費	0円
高等学校費	5,955万円
農業集落排水事業費	1億8,280万円
合計	615億8,738万円

いわみざわの家計簿

問合先 財政課

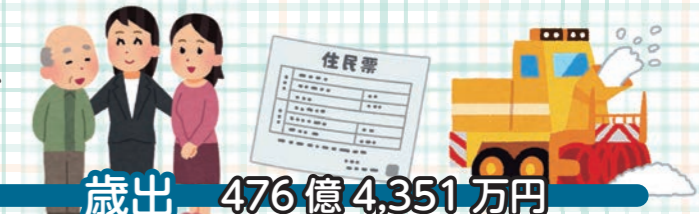


市は、4月から翌年3月までの1年間を一区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金などの入ってくるお金(歳入)と、それをどのように使うか(歳出)を決める予算を組み立て、議会の議決を得てさまざまな事業を行っています。
 そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。
 今月号は、一般会計、特別会計、企業会計の令和元年度の決算の内容と財政状況をお知らせします。

令和元年度 決算

一般会計

福祉事業や道路の整備など、市の基本的な事業の会計です。



歳入 478億410万円

歳出 476億4,351万円

地方交付税 145億9,726万円 国(国税など)からの交付金	30.5%
市税 85億4,729万円 市民税、固定資産税など	17.9%
国庫支出金 70億6,251万円 使い道を特定された国からの補助金など	14.8%
市債 48億8,280万円 長期的な借入金	10.2%
道支出金 34億4,672万円 使い道を特定された北海道からの補助金など	7.2%
諸収入 31億5,162万円 貸付金の償還金など	6.6%
その他 61億1,590万円 各種交付金、保育料や学校給食費、市営住宅の家賃など	12.8%

民生費 147億3,866万円 児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など	30.9%
総務費 58億4,921万円 住民票の発行などの一般的な事務	12.3%
土木費 57億3,517万円 道路・公園・市営住宅の整備、除排雪など	12.0%
公債費 51億3,334万円 借入金の元金と利子の返済	10.8%
教育費 50億1,109万円 小・中学校教育、生涯学習など	10.5%
衛生費 39億1,312万円 ごみ処理、健康診断など	8.2%
商工費 21億9,484万円 商工業の発展、観光の振興など	4.6%
農林水産業費 20億3,194万円 農業・林業・畜産の振興など	4.3%
消防費 12億2,725万円 消防署などの運営	2.6%
その他 18億889万円 議会、公社への貸付など	3.8%

収入と支出の差引額 1億6,059万円

財政調整基金へ積み立て 6,189万円

令和2年度へ繰り越し 9,870万円

健全化判断比率など

自治体の財政状況を示す指標である健全化判断基準は、いずれの指標も基準を下回っており良好な水準です。これらの数字を上回った場合は、財政再建が必要となります。



健全化判断比率			
指標名	岩見沢市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計等の赤字を市税等の財政規模と比較する割合	黒字	12.15%	20%
連結実質赤字比率 一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税等の財政規模と比較する割合	黒字	17.15%	30%
実質公債費比率 財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合	7.4%	25%	35%
将来負担比率 一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合	64.9%	350%	

資金不足比率		
指標名	会計名と割合	経営健全化基準
資金不足比率 国民健康保険費、介護保険費、後期高齢者医療費を除く特別会計と企業会計の資金不足を料金収入の規模と比較する割合	資金不足が生じている会計はありません	20%

令和2年度 予算の執行状況 令和2年4月1日～9月30日

一般会計・特別会計

市債の現在高

区分	予算額	収入済額	収入率 (%)	執行済額	執行率 (%)	
一般会計の合計	621億1,782万円	278億1,403万円	44.8	297億7,724万円	47.9	
特別会計	国民健康保険費	89億1,921万円	39億8,095万円	44.6	33億9,820万円	38.1
	公共用地等造成費	1億3,476万円	554万円	4.1	1億2,802万円	95.0
	公設卸売市場費	3,427万円	2,597万円	75.8	2,082万円	60.8
	高等学校費	6億2,486万円	2億7,764万円	44.4	2億7,135万円	43.4
	企業用地造成費	2,855万円	2,204万円	77.2	1,880万円	65.9
	農業集落排水事業費	2億2,231万円	6,266万円	28.2	6,517万円	29.3
	介護保険費	97億6,621万円	36億1,907万円	37.1	33億6,279万円	34.4
	後期高齢者医療費	14億1,076万円	3億8,291万円	27.1	3億4,891万円	24.7
合計	211億4,093万円	83億7,678万円	39.6	76億1,406万円	36.0	

一般会計	587億5,702万円
特別会計	2億4,474万円

企業会計

病院事業会計		
収益的	収入	52億6,706万円
	支出	56億2,900万円
資本的	収入	5万円
	支出	4億6,496万円

水道事業会計		
収益的	収入	7億7,660万円
	支出	4億607万円
資本的	収入	0円
	支出	3億1,391万円

下水道事業会計		
収益的	収入	8億5,428万円
	支出	4億1,029万円
資本的	収入	1億9,051万円
	支出	5億2,656万円